

# 岸本 実

職位 特任教授

研 究 業 績

2026年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	「パフォーマンス評価：パフォーマンス課題とそのつくりかた」（pp.116-117）、「プロジェクト」（pp.118-119）、「ポートフォリオ評価法」（pp.124-125）、「ポートフォリオ検討会」（pp.126-127）（分担執筆）、田中耕治編『よくわかる教育評価（第3版）』（ミネルヴァ書房）	2021年 4月
	「第3章道德教育の歴史、第1節戦前の道德教育（pp.53-63）、第2節戦後初期の道德教育」（pp.64-74）（分担執筆）田中耕治編著『教職教養講座第6巻道德教育』（協同出版）	2017年 10月
	「第21章社会」（分担執筆 pp.64-73）教育目標・評価学会編『「評価の時代」を読み解く（下）教育目標・評価研究の課題と展望』（日本標準）	2010年 12月
	「米国の教員養成プログラムと教育実習から見た教師の力量」pp.251-277）（分担執筆）グループ・ディダクティカ編『学びのための教師論』（勁草書房）	2007年 2月
	「時間の活用、時間割づくりをどうするか」（pp.98-101）（分担執筆）田中耕治編著『カリキュラムをつくる教師の力量形成』（教育開発研究所）	2006年 6月
	「風土論の視点を組み込んだ資源・エネルギー・環境教育」（pp.14-18）（分担執筆）佐島群巳、高山博之、山下宏文編著『エネルギー環境教育の理論と実践』（国土社）	2005年 1月
	「現代化論を再考するー到達目標論ー」（pp.96-114）（分担執筆）天野正輝編『教育評価論の歴史と現代的課題』（晃洋書房）	2002年 11月
	「高校歴史教育の理念と内容の変遷」（pp.58-76） 「アメリカの社会科」（pp.221-236）（分担執筆）加藤西郷・吉岡真佐樹編著『社会・地歴・公民科教育論』（高菅出版）	2002年 10月
	「環境教育の風土論的アプローチ」（pp.180-199）（分担執筆）グループ・ディダクティカ編『学びのためのカリキュラム論』（勁草書房）	2002年 3月
	「カリフォルニア州の歴史ー社会科学フレームワーク」	1999年

	(pp. 115-142) (分担執筆) 天野正輝編著『総合的学習の カリキュラム創造－教育課程研究入門－』ミネルヴァ書房	1月
	「探究の社会科の目標 - 評価論の検討－アメリカの社会科に おける完全習得学習の導入の分析を通して－」 (pp. 290-311) (分担執筆) 稲葉宏雄編『教育方法学の再構築』あゆみ出版	1995年 3月
	「アメリカの歴史教科書と歴史教育」 (pp. 83-104) (分担執 筆) 歴史教育者協議会編『新しい歴史教育⑤世界の教科書を 読む』大月書店	1994年 3月
	「道徳教育は心に迫れるか－道徳の授業論－」 (pp. 115-142) (分担執筆) 吉田一郎、井ノ口淳三、広瀬信編著『子どもと 学ぶ道徳教育』ミネルヴァ書房	1992年 11月
論文(単)	「循環型社会について考える教材とルーブリックの開発－高 校『現代社会』の実践を通して－」滋賀大学教育学部社会科 教育研究室編『社会科教育の創造』第22号、pp. 1-7	2015年 3月
	「社会科のパフォーマンス評価とルーブリック」滋賀大学教 育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第20号、 pp. 90-98	2013年 3月
	「シティズンシップ科教科書におけるスキルの学習」滋賀大 学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第19号 pp. 77-86	2012年 3月
	「人権とシティズンシップ教育の教材・学習プランの可能性」 部落問題研究所編『人権と部落問題』61(5) pp. 19-26	2009年 4月
	「思考力・判断力評価の手続き」日本教材文化研究財団編『思 考力・判断力を問う中学校社会科テスト問題の開発研究』	2008年 8月
	「グローバル時代の人権とシティズンシップ教育の教材・学習 プラン」部落問題研究所紀要『部落問題研究』第185号、 pp. 184-200	2008年 6月
	「アイルランドの『歴史』『地理』『公民・政治教育』の中 学校修了試験」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会 科教育の創造』第15号、pp. 116-123	2008年 3月
	「アイルランド共和国の『公民・社会・政治』」滋賀大学教 育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第13号、 pp. 99-108	2006年 3月
	「米国における歴史教育の目標と評価基準－日本の『観点別 評価』との比較－」教育目標評価学会編『教育目標評価学会 紀要』第15号、pp. 26-38	2005年 11月
	「ミシガン州立大学教育学部におけるインターンシップ」滋 賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第	2005年 3月

	12号、pp. 81-94	
	「社会科における自然への関係論的なまなざし」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第11号、pp. 67-76	2004年 3月
	「アメリカ歴史教科書と多文化主義」歴史科学協議会編『歴史評論』632号 pp. 61-64 校倉書房	2002年 12月
	小学校4年生の社会科単元『安全な生活を支える人と私』 「ミシガン州立大学教育学部におけるインターンシップ」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第9号、pp. 39-52	2002年 3月
	「『琵琶湖と人々の暮らしとの歴史的なかかわり』の教材・授業づくりー環境教育の風土論的アプローチに向けてー」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第7号、pp. 27-37	2000年 3月
	「ジェンダーと歴史教育」滋賀大学生涯学習教育研究センター『研究集録』pp. 67-71	1999年 3月
	「カリフォルニア州の歴史ー社会科学フレームワークと学習評価システム」『滋賀大学教育学部紀要』第48号 I 教育科学 pp. 15-28	1998年 3月
	「米国の公民・政治ナショナルスタンダードの特徴」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第5号、pp. 81-97	1998年 3月
	「『社会科』における『部落問題』の学習についての覚え書」部落問題研究所紀要『部落問題研究』No. 140. pp. 211-226	1997年 8月
	「授業書『人権と部落差別』作成にむけての覚え書」滋賀大学教育学部社会科教育研究室編『社会科教育の創造』第4号、pp. 71-81	1997年 3月
	「鈴木正気実践における概念とそれを視点とした現実の分析・総合過程の検討ー鈴木正気実践における60・70・80年代の継承性・発展性の分析ー」鹿児島短期大学研究紀要第56号、pp. 51-67	1995年 11月
	「カメハメハ早期教育プログラムにおける『最近接発達領域』の四段階と読みの教授ストラテジーの検討」鹿児島短期大学研究紀要第51号、pp. 21-31	1993年 3月
	「『カリキュラム』誌における『ごっこ』単元の分析ー『ごっこ』単元の三つの改善方向の分析を中心にー」日本教育方法学会『教育方法学研究』第17巻、pp. 117-125	1992年 3月
	「安井俊夫実践の教材における民衆史研究と子どもの認識活	1990年

	動の適合について—中内敏夫の教材論を視点として—」京都大学教育学部教育指導・教育課程研究室『共同研究報告論集Ⅱカリキュラム改革をめぐる諸問題』pp. 47-53	3月
	「1960年代アメリカの社会科における社会科学の一般法則の教授—学習の検討—社会科学の一般法則の性格を視点として—」日本社会科教育学会『社会科教育研究』第60号, pp. 33-47	1989年 3月
	MACOSにおける思考と感情の結合について—J. ブルーナーとR. ジョーンズの教授理論による人間についての知識の主体化について—」全国社会科教育学会『社会科研究』第37号 pp. 148-157	1988年 3月
	「MACOSの学力像と単元構成」関西教育学会『紀要』第10号 pp. 60-63	1986年 10月
論文(共)	岸本実・西村幸太・荻野祐浩・尾田卓也「責任ある主体性を育む小学校社会科授業—思考、学習評価、市民的熟議の3つのエージェンシーに向けて—」滋賀大学教育実践研究論集第7号, pp. 106-113	2025年 2月
	岸本実・石部和人・張瓊云・井口 貴之・廖蘭馨・井上照美・梶谷素女・李雨璇・志賀元紀・王瑜「特別支援学校高等部におけるICTを活用した国際交流体験学習」滋賀大学教育学部教育実践研究指導センター紀要『パイディア』第25巻、pp. 47-55	2017年 3月
	今本晃・岸本実「『八幡堀物語』環境教育のための高校地理教材—近江兄弟社高校の授業報告—」滋賀大学教育学部教育実践研究指導センター紀要『パイディア』第8巻、pp. 87-94	2000年 3月
口頭発表(単)	「戦後学校教育における政治的主体形成の歴史的検討—社会科学の継承と子どもの意見表明の観点から— 2. 子どもの意見表明の観点から」教育目標・評価学会第29回大会(和光大学)	2018年 11月
口頭発表(共)	中川翔太・岸本実「自己評価から学習を見通せる自己調整学習プロセスモデルの開発—小学校社会科の問題解決的な学習をもとに—」教育目標・評価学会台35回大会(東海大学)	